

## 番 組 編 成 方 針

[少年の部]

県春季選手権大会、国体予選会ソフトテニス競技（以下「国体予選」という）番組編成にあたっては次の方針で行う。

### 1. シードする組数

組 数

- 31 以下 4本迄シードすることを原則とする。
- 32 ～ 63 8本迄シードすることを原則とする。
- 64 ～ 127 16本迄シードすることを原則とする。
- 128～ 255 32本迄シードすることを原則とする。
- 256以上 64本迄シードすることを原則とする。

### 2. 県春季選手権大会

#### (1) シードする時

- a. 8本シード
  - (a) 前年度県春季選手権大会 1 位 (第1シードとする)
  - (b) 前年度県新人選手権大会 ベスト8 この中で考慮する。
- b. 16本シード
  - (a) 前年度県新人選手権大会 ベスト16
  - (b) 前年度県国体予選会 ベスト16 この中で考慮する。
- c. 32本シード
  - (a) 前年度県新人選手権大会 ベスト32 この中で考慮する。
- d. 同一高校の分散
- e. 同じペアを優先し、異なるペアの場合は次のシードで考慮する。

#### (2) シード外

- a. 同一地区の分散
- b. 初回戦の同一対戦高校は一つだけにする。
- c. その他は考慮しない。

### 3. 国体予選会

#### (1) シードする時

- a. 8本シード
  - (a) 前年度国体予選会 1 位 (第1シードとする)
  - (b) 県高校総体 ベスト8
  - (c) 県春季選手権大会 1・2位 この中で考慮する。
- b. 16本シード
  - (a) 県高校総体 ベスト16
  - (b) 県春季選手権大会 ベスト8 この中で考慮する。
  - (c) 強化指定チーム

#### (2) シード外

県春季選手権大会と同じとする。

### 4. シードを決める時、前大会での対戦を考慮する。

次に同一地区の選手を分散する。

### 5. シードのバックを決める際、シード外の地区の選手を入れる。

実績のないチームより入れる。

[一般・成年・シニアの部]

県春季選手権大会、小嶋・佐藤杯選手権大会、国体予選、県秋季選手権、県インドア選手権大会の番組編成にあたって次の方針で行う。

1. シードする組数

組 数

50 以下 8本迄シードすることを原則とする。

51 ～ 100 16本迄シードする。

101 以上 32本迄シードする。

2. 県春季選手権大会

(1) シードする時

a. 8本シード

(a) 前年度県春季選手権大会 1 位 (第1シードとする)

(b) 前年度国体予選会 1～4位

(c) 前年度県インドア選手権大会 1・2位

b. 16本シード

(a) 前年度各県大会 ベスト16

(b) 各地区春季大会 1・2位 この中で考慮する。

c. 32本シード

(a) 同一地区が分散するようにし、地区の上位チームを考慮する。

3. 国体予選会

(1) シードする時

a. 8本シード

(a) 前年度国体予選会 1 位 (第1シードとする)

(b) 小嶋・佐藤杯選手権大会 ベスト8

(c) 県春季選手権大会 1～4位 この中で考慮する。

b. 16本シード

(a) 小嶋・佐藤杯選手権大会 ベスト16

(b) 県春季選手権大会 ベスト8 この中で考慮する。

4. 秋季選手権、インドア大会も前年度1位ペアを第1シードとし、その他シードは直近の県大会の結果を優先し決定する。

5. シードを決める時、前大会での対戦を考慮し、同じペアを優先し異なるペアの場合は次のシードにおとす。

6. シード外は同一地区、同一所属を分散し、その他は考慮しない。

7. 申込数が2組以下の種目は原則として下のランクに組み入れる。